

火入れ式に参列しました

令和5年度佐世保道路相浦舗装工事火入れ式が執り行われ、弊社代表取締役が参列しました。アスファルトプラントのボイラーに点火する「火入れ式」というものがあり、関係者が工事の安全を祈願しました。



火入れ式とは：

日本で古代より行われてきた伝統的な慣習であり、工事や設備の稼働に先立ち、神々に感謝し守護を願うために行われてきました。

特に火を使う事業に関して、火を扱うこと自体が非常に危険であるため、火入れ式という形の儀式を行い安全を祈願してきました。